



誓いの言葉を述べる津田さん



成人証書と記念品を受け取る坂本さん(右)と遠藤さん



奥州鮫川太鼓もお祝いにつけました

成人者の感想

私と家族の二十年

前田 大樹さん
(赤坂東野字前田)

私が父と母の元に生まれてから、二十年が経ちます。小学生の時、早く大人になりたいと思っていましたが、実際になってみると意外にも変化はないもので、

大人になったという実感はまだほとんどありません。

私は今、自分の夢である教員の資格を得る為に大学に通わせてもらっています。私は、父や母、家族によって大学生活を支えてもらい自分の望むように勉強しています。これは、もの凄く幸せなことです。自分で言うのは少し変かもしれませんが、私は世界一幸せな家庭に生まれたと思います。

私が二十年間、無事に過ごしてこれたのも、家族がいたからだだと思います。二十歳になって自分のことだけではなく、世の中にも目がいくようになって改めて感じたこと、それは親の存在の偉大さです。今、社会では自分の子を死なせてしまう親、親を子が殺害するといった、あってはならない悲惨な事件がたくさん起こっています。この様に、本来の親子の形が失われていく中で、我が子のためならば何だってする、それが私の両親です。父は、厳格でありながら優しさを持ち、常に家族全体のことを考えて行動します。自分が辛い時や苦しい時も、それを周りにださず弱音を吐かない強い人です。若い人たちから見れば頑固に見えるかもしれませんが、私にとって父は、目標であり私自身の最終到達点に立っている人です。

母は、そんな父も含み、家族全員を持ち前の根性と愛情で支えてくれます。女の子の初恋は、父親だと言いますが、私は母だったのかもしれません。それくらい今も昔も母のことが大好きです。いつも周りを気にかけて、その中で、しっかり自分を持っていて、時々女性らしい臆病さも見える、強さと弱さを持った人です。母は今、癌という大病と戦っています。今、大変な時期だからこそ、二十歳を迎えた私が家族の支えになる時です。私の大切な家族を守ることが、今、私の願いであり、目標です。

二十歳の抱負

金澤 剛士さん
(赤坂西野字大塩)

二十歳を迎えたこの日、まず始めに、両親へ感謝の気持ちを伝えたいと思います。

「お父さん、お母さん、これまで私を温かく見守り、精一杯の愛情を持って育てていただき、ありがとうございました。」

未だ子どもにしか見えない私ですが、精神共々、少しずつ成長して参りました。親元を離れ大学へ進学した人、就職の道へ進んだ人、それぞれ未だ甘えている人も多いのではないのでしょうか。もう二十年という月日が経ってしまいました。私にとっては、あっという間の二十年間でした。何一つ不自由なく生活してこれたのも両親のおかげです。心から感謝しています。

私は今、大学で福祉の勉強をしています。中でも、私は高齢化社会に対してとても関心を持っています。今日の日本人口は、5人に1人が高齢者という割合です。これからますます高齢者の割合が高くなっていくと考えられます。こうした若者の活力を必要とする世の中で、私たちは、それぞれ共に社会を歩んでいます。

私は、今の若者は町で人の助けを必要とする高齢者を見かけても、手を差し伸べる者が少なくなっていると感じます。福祉を勉強している立場として、自分でも改めて恥ずかしいことですが、高齢者にいらだちを感じたことが少なからずあります。しかし、今私が身を持って思うことは、高齢者への尊敬のこころを持たなければならないということです。高齢者が時代を築き、今日のなに不自由のない私たちの生活があるのです。私は、自分たちが高齢者を温かく支えていかなければならないと当たり前のように思います。

現在、社会をみると、高齢者に関わらず、大人に刃向かう若者が悲しくも多く目立ちます。非常に恥ずかしいことです。私もその中の一員に入っていたように思います。しかし、私は今日、大人の社会へ一歩踏み出しました。これからは、社会の一員として、自覚と責任を持った行動を心がけなければなりません。広く温かい心を持って人に接し、また、人から尊敬される人間になりたいと思います。まだまだ未熟な私ですが、精一杯人生の先輩を見習いながら、これからの社会に貢献していきたいと思っています。

改めて、お父さん、お母さん、お祖母ちゃん、そして、今は亡きお祖父ちゃん、本当に私をこれまで育ててくださってありがとうございました。そして、これからも何卒よろしく願います。



第60回村成人式

64人が大人の仲間入り

第60回鮫川村成人式は1月13日、村公民館で行われ、新成人64人(男子35人、女子29人)が出席しました。

式典では、新成人を代表して坂本雄希さん(西山字岩野草)に成人証書、遠藤えりかさん(赤坂東野字滝ノ下)に記念品が渡されました。大楽村長の式辞、前田村議会議長の祝辞に続き、津田優樹さん(渡瀬字上)が誓いの言葉を、金澤剛士さんと前田大樹さんが成人者の感想文を発表し、大人としての自覚を新たにしました。

式典終了後は、出席者で記念撮影。奥州鮫川太鼓保存会(芳賀良雄会長)もお祝いにかけつけ、勇壮な演奏で新成人を祝福しました。

